

前河原築堤工事の第1期盛土完成で工事見学会開催



前河原地区の第1期堤防盛土の全景

平成27年9月の関東・東北豪雨で大規模な溢水が発生した前河原地区の第1期堤防盛土が完成し、施工業者および国土交通省下館河川事務所が主催する工事見学会が9月3日、前河原地先の鬼怒川左岸で開かれ、地域住民や行政関係者など49人が参加しました。

今回の第1期工事は、北台川水門から下流の堤防総延長650.5mの区間に、高さ約1~4mの盛土を行い、新たな堤防にビニールシート張やブロック張、張芝をしたもので、昨年9月の洪水時の水位から50cmほど高くなりました。

今後は、沈下を確認した上で、第2期工事でさらに約1mの盛土を行うほか、周辺の水路整備なども行い、早期完成に向けての工事が進められます。



新たな堤防を歩きながら工事の説明を受ける参加者

平成27年度 株式会社ふれあい下妻の 経営状況をお知らせします



満開のヒマワリと道の駅しもつま

「株式会社ふれあい下妻」の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの経営状況（第18期）を公表します。

平成27年度は、道の駅しもつまのリニューアルに伴う大規模改修工事とビアスパークしもつまが関東・東北豪雨での鬼怒川の溢水による浸水被害を受けたことから、両施設とも半年余りの休業期間がありました。その間、イベントによる販売促進や大幅な食事メニューの変更など売上増加および収益向上に向けた取り組みをはじめ、労務管理を徹底し、経費削減対策を行いました。

その結果、売上高ではビアスパークが休業の影響から大幅減少となりましたが、道の駅・本館のリニューアルオープン後の集客が順調で、約5カ月の休業期間があつたにもかかわらず前期実績を上回り、全体としては前期比86.19%の約6億8,000万円となりました。

また、経営の健全化とビアスパークの水害からの復旧を図るため、市から8,000万円の支援と道の駅の休業に対する補償として39,518,000円を給付しました。

道の駅しもつま

大規模改修工事で「農産物直売所」を本館の中心部に配置するとともに、新たに「ベーカリー」「コンビニエンスストア」を新設し、施設内に回遊性を持たせて利用者の利便性を向上させた結果、売上高は営業再開後順調に推移し、前期比4.21%増の約5億3,106万円となりました。

また、道の駅利用者数は、前期比12.44%減の約54万5,386人となっています。

ビアスパークしもつま

定期直売市の開催やイベントなどの情報発信の強化に取り組みましたが、水害により予定していたディナーショーなどが中止となりました。休業期間中はリース料の免除交渉や経費削減交渉など支出の削減に努めましたが、売上高は前期比46.68%減の約1億4,897万円となりました。

また、温泉入場者数は、前期比43.18%減の約9万2,108人となりました。

入湯税を市に納付

「株式会社ふれあい下妻」から、入湯税12,533,850円が市に納付されました。

経営状況の推移

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前期比較
売上高	7億7,740万円	7億8,899万円	6億8,003万円	△1億 897万円
道の駅	5億 966万円	5億 959万円	5億3,106万円	2,147万円
ビアスパーク	2億6,774万円	2億7,941万円	1億4,897万円	△1億3,043万円
税引前当期利益	△2,694万円	1,000万円	8,743万円	7,742万円
道の駅利用者	61万5,925人	62万2,863人	54万5,386人	△7万7,477人
温泉入場者	15万9,924人	16万2,093人	9万2,108人	△6万9,985人

高齢者の長寿祝福、末永い健康と長寿を

9月19日の敬老の日に先立ち、高齢者の長寿を祝う「第45回下妻市敬老福祉大会」が9月11日、市民文化会館で開催されました。日頃親しんでいる歌や踊りを披露し、鑑賞し合う同大会には市内の老人クラブや同好会、個人など40組が出場。集まった約500人は、ステージ発表に合わせて一緒に歌ったり、シルバーリハビリ体操で体をゆっくり動かしてリラックスしたりと楽しいひとときを過ごしました。



百歳音頭を元気に披露する上妻南ながいきクラブのメンバー

百歳音頭で踊りを披露した上妻南ながいきクラブの須藤常夫会長は「歌詞のとおり百歳までみんなで元気に過ごしたい」と笑顔を見せていました。

市では平成28年度中に米寿の88歳を迎える市民が238人、100歳以上は32人。最高齢は106歳の男性で、県内では男性で2番目の長寿となっています。稲葉市長は9月20日と26日に100歳以上の長寿者宅や施設等を訪ね、祝い状や記念品を手渡し、長寿を祝福しました。



内閣総理大臣からの100歳長寿の祝い状を伝達する稲葉市長

広報しもつま2016年9月号の記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

○7ページ:茨城県建築士会下妻支部と災害時における建築物についての協定締結組織の名称 【誤】茨城県建築士協会下妻支部 → 【正】茨城県建築士会下妻支部

有料広告欄

有料広告欄